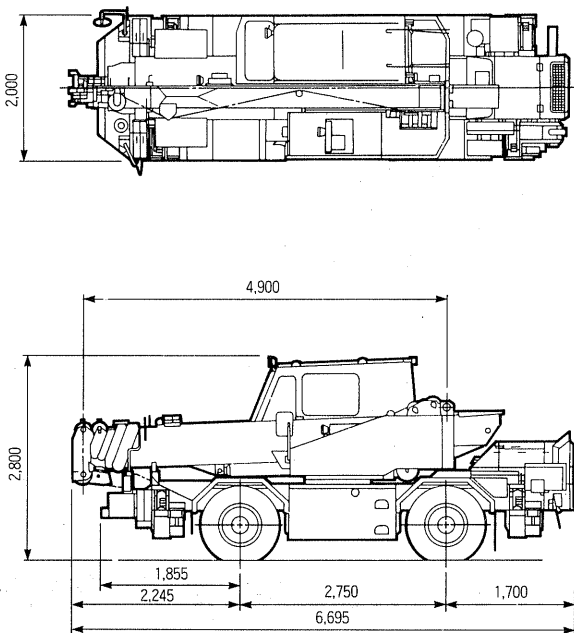


寸法・重量関係

■走行状態

単位(mm)

縮尺 1/100

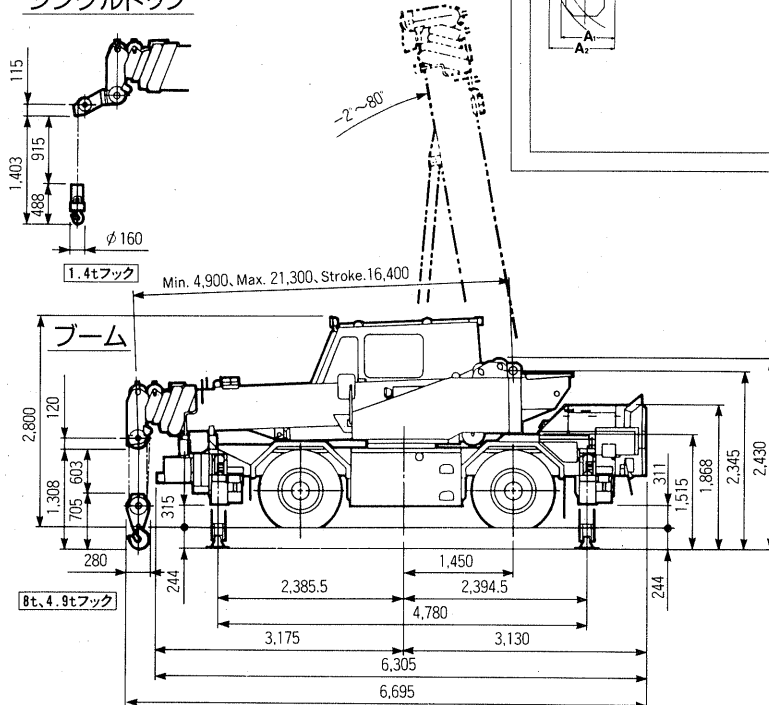


■主要寸法

単位(mm)

縮尺 1/100

シングルトップ

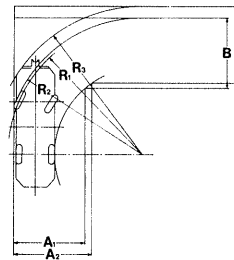


■最小直角通路幅

●前2輪ステアリングで右折する場合

R₁=7.00m(最小回転半径)
R₂=7.14m(最外輪端回転半径)
R₃=7.77m(車体最小回転半径)

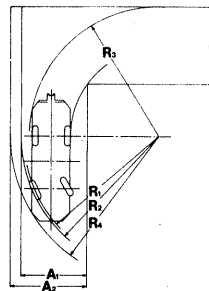
A₁=3.68m(入口通路幅)
A₂=4.04m(車体入口通路幅)
B = 3.68m(車輪出口通路幅)
C = 4.04m(車体出口通路幅)



●後2輪ステアリングで右折する場合

R₁=7.00m(最小回転半径)
R₂=7.14m(最外輪端回転半径)
R₃=6.71m(車体先端最小回転半径)
R₄=7.71m(車体後端最小回転半径)

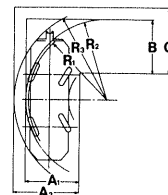
A₁=3.43m(車輪入口通路幅)
A₂=4.00m(車体入口通路幅)
C = 4.00m(車体出口通路幅)



●4輪ステアリングで右折する場合

R₁=4.05m(最小回転半径)
R₂=4.19m(最外輪端回転半径)
R₃=4.82m(車体回転半径)

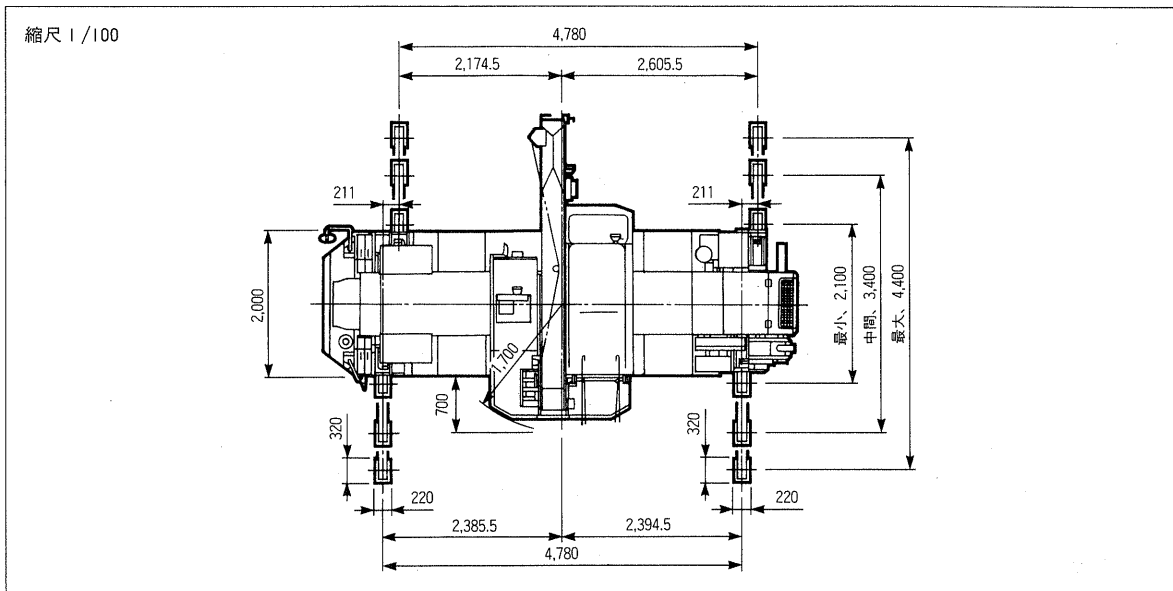
A₁=2.79m(車輪入口通路幅)
A₂=3.42m(車体入口通路幅)
B = 2.79m(車輪出口通路幅)
C = 3.42m(車体出口通路幅)



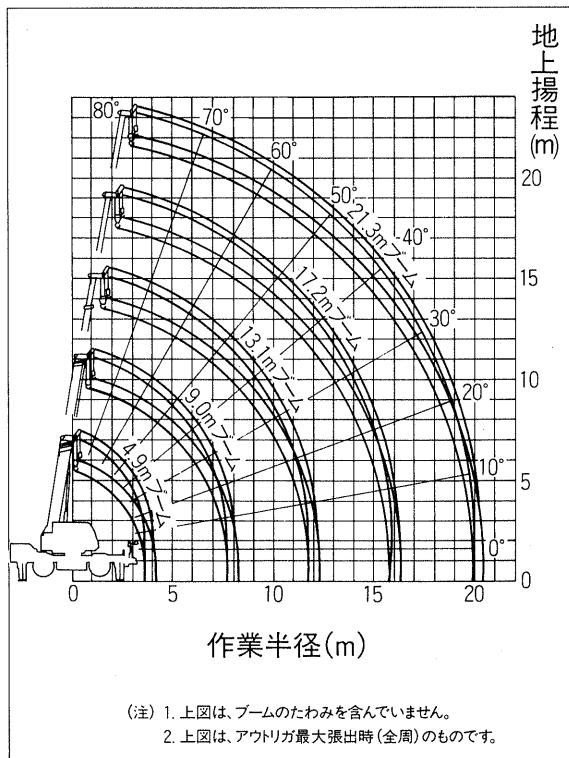
(注)上記数値は計算値です。

寸法・重量関係

単位(mm)



作業半径-揚程図



アウトリガ張出時の定格総荷重表

[注意]

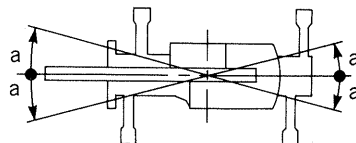
- ()内はTR-80M型の値です。
- 定格総荷重は、アウトリガを水平堅土上に設置したときの値で、太線より上側はクレーンの強度に基づき、下側はクレーンの安定に基づいています。
- 定格総荷重は、つり具重量とフック重量を含んだ値を示します。
- 定格総荷重は、ブームのたわみを含んだ実際の作業半径に基づいています。
- 各ブーム長さにおけるフックのワイヤロープ標準巻掛本数は下表のとおりです。なお、ロープ1本当りの荷重は、主巻1.25t以下 (TR-80M型は1.23t以下)、補巻1.4t以下です。

ブーム長さ	4.9m	5.6m	9.0m	13.1m	17.2m	21.3m	シングルトップ
巻掛本数	7(4)	7(4)	4	4	4	4	1
フックの種類	8トン吊り(4.9トン吊り)						1.4トン吊り
フックの重量	75kg (70kg)						20kg

()内はTR-80M

- 自由降下は原則としてフックのみを降下するときに使用してください。やむをえず吊り荷を自由降下する場合には、定格総荷重の1/5を限度とし、急激なブレーキ操作は避けてください。
- シングルトップの定格総荷重は、ブームの定格総荷重から60kgを差し引いた値とし、かつ限度は、1.4tです。
- 側方域での吊り上げ性能はアウトリガ張出幅によって異なります。張出幅に応じた性能で作業をしてください。また、前方・後方域での吊り上げ性能は「アウトリガ最大張出」性能ですが、張出幅によってその前方・後方域の範囲(角度 a°)が異なります。

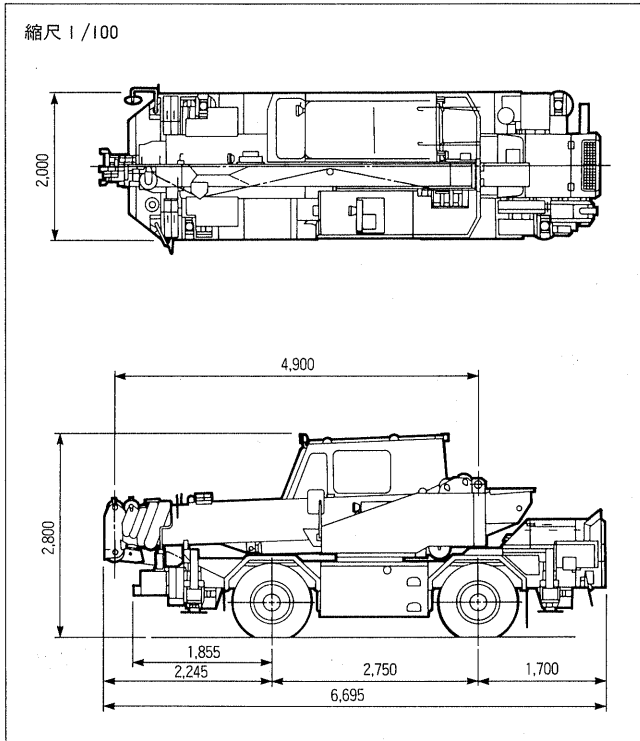
張出幅	中間張出 (3.4m)	最小張出
角度 a°	25	10



寸法・重量関係

■走行状態

単位(mm)

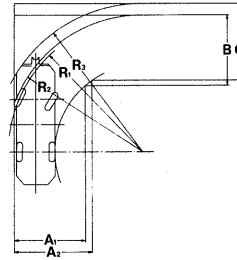


■最小直角通路幅

●前2輪ステアリングで右折する場合

- R₁=7.00m(最小回転半径)
- R₂=7.14m(最外輪端回転半径)
- R₃=7.77m(車体最小回転半径)

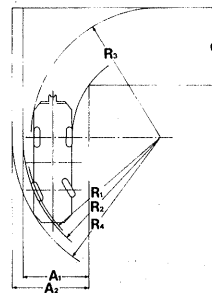
- A₁=3.68m(入口通路幅)
- A₂=4.04m(車体入口通路幅)
- B = 3.68m(車輪出口通路幅)
- C = 4.04m(車体出口通路幅)



●後2輪ステアリングで右折する場合

- R₁=7.00m(最小回転半径)
- R₂=7.14m(最外輪端回転半径)
- R₃=6.71m(車体先端最小回転半径)
- R₄=7.71m(車体後端最小回転半径)

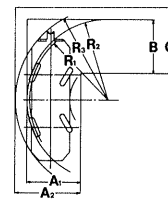
- A₁=3.43m(車輪入口通路幅)
- A₂=4.00m(車体入口通路幅)
- C = 4.00m(車体出口通路幅)



●4輪ステアリングで右折する場合

- R₁=4.05m(最小回転半径)
- R₂=4.19m(最外輪端回転半径)
- R₃=4.82m(車体回転半径)

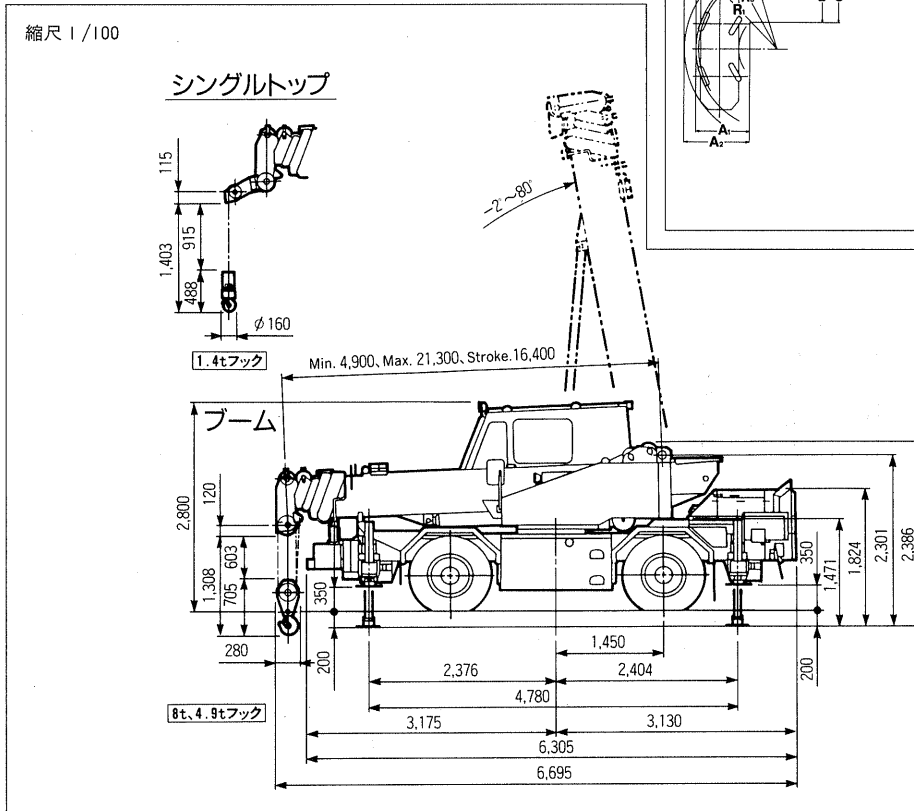
- A₁=2.79m(車輪入口通路幅)
- A₂=3.42m(車体入口通路幅)
- B = 2.79m(車輪出口通路幅)
- C = 3.42m(車体出口通路幅)



(注)上記数値は計算値です。

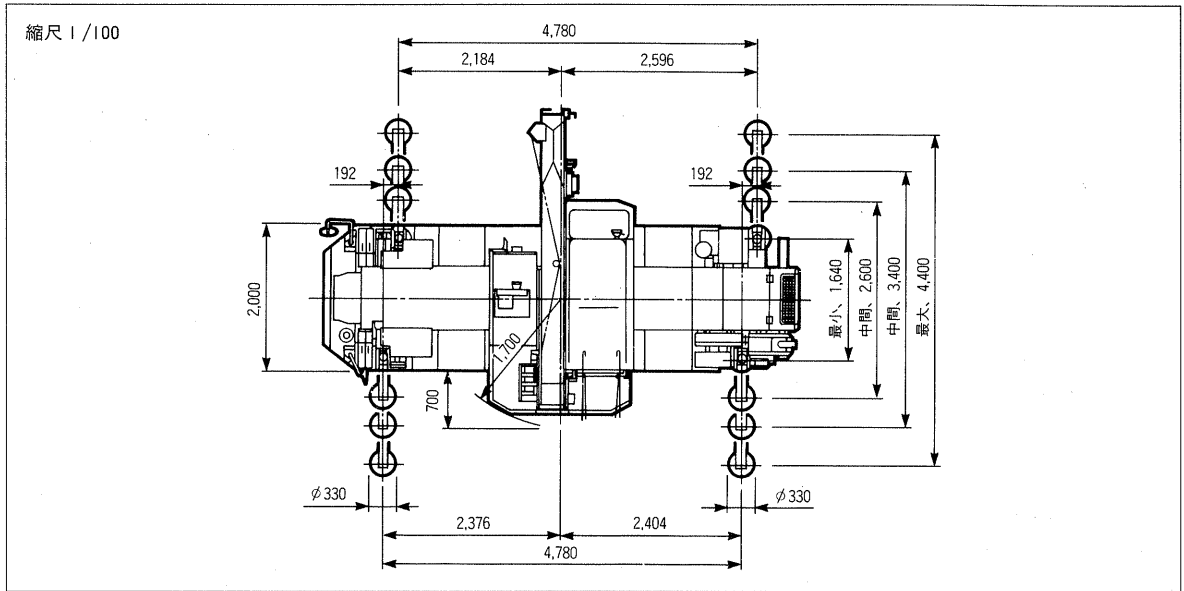
■主要寸法

単位(mm)



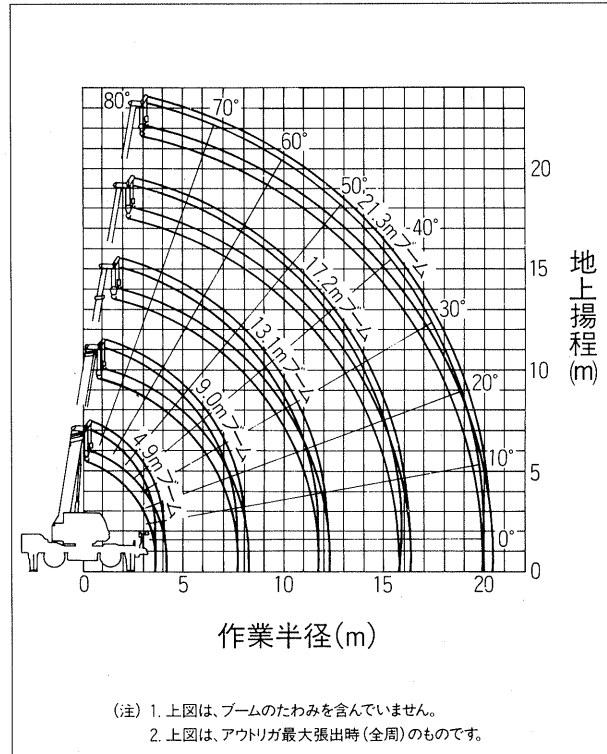
寸法・重量関係

単位(mm)



作業半径-揚程図

アウトリガ張出時の定格総荷重表



【注意】

- ()内はTR-80M型の値です。
- 定格総荷重は、アウトリガを水平堅土上に設置したときの値で、太線より上側はクレーンの強度に基づき、下側はクレーンの安定に基づいています。
- 定格総荷重は、つり具重量とフック重量を含んだ値を示します。
- 定格総荷重は、ブームのたわみを含んだ実際の作業半径に基づいています。
- 各ブーム長さにおけるフックのワイヤロープ標準巻掛本数は下表のとおりです。なお、ロープ1本当りの荷重は、主巻1.25t以下 (TR-80M型は1.23t以下)、補巻1.4t以下です。

ブーム長さ	4.9m	5.6m	9.0m	13.1m	17.2m	21.3m	シングルトップ
巻掛本数	7(4)	7(4)	4	4	4	4	1
フックの種類	8トン吊り(4.9トン吊り)						1.4トン吊り
フックの重量	75kg(70kg)						20kg

()内はTR-80M

- 自由降下は原則としてフックのみを降下するときに使用してください。やむをえず吊り荷を自由降下する場合には、定格総荷重の1/5を限度とし、急激なブレーキ操作は避けてください。
- シングルトップの定格総荷重は、ブームの定格総荷重から60kgを差し引いた値とし、かつ限度は、1.4tです。
- 側方域での吊り上げ性能はアウトリガ張出幅によって異なります。張出幅に応じた性能で作業をしてください。また、前方・後方域での吊り上げ性能は「アウトリガ最大張出」性能ですが、張出幅によってその前方・後方域の範囲(角度 a°)が異なります。

張出幅	中間張出 (3.4m)	中間張出 (2.6m)	最小張出
角度 a°	25	17	5

